

木造建築教育シンポジウムのご案内

明大建築学科では実物体験学習が重要と考え、今まで各種有名建築の縮尺 1/10 模型などの新教材開発と導入を進めてきました。今回の被災地の“サステナブル”住環境づくり核となるべき伝統木造構法を学ぶための「継手仕口」模型を導入いたしましたので、これによる木造建築教育のあり方について議論するため、下記の次第のミニシンポジウムを開催します。この繁忙の折とは思いますが、学内、学外の皆様にご案内させていただく次第です。

- 日時：平成 23 年 6 月 17 日（金） 午後 1 時半より
- 場所：明大生田キャンパス A 館 11 階ホール 電話：044-934-7330（野口研・内山）
（小田急・向ヶ丘遊園・北口より明大職員バスをご利用下さい）
- 申込み不要（無料）

澤田誠二（構法計画専攻）
内山善明（木質構造専攻）
青井哲人（建築史専攻）
小林正人（材料構造専攻）

「継手仕口」模型の概要



システム開発：大工 田中文男
大きさ：90cm×60cm×60cm
縮尺：約 3 分の 1
使用材：ひのき（桧・真木）
部材数：約 70 点
接合数：約 30 種
制作：岩瀬建築（成田）

プログラム

- 13:30~13:45 主旨説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・澤田誠二
- 13:45~14:45 講演「伝統木造建築の現状と展望」・・ 岩瀬繁（岩瀬建築社長）
- 15:00~16:30 「継手仕口」模型組立て実演・・・・・・・・岩瀬建築社員
- 16:30~18:00 ディスカッション+懇親会・・・・・・・・・・構法計画研究室（無料）

- 問合せ： 構法計画研究室（田中宏樹 <tappy-2996.952@kud.biglobe.ne.jp>）